

# 農業



平成28年 1月号  
会誌 No. 1608

## 目次

### 巻頭言

新しい年を迎えて……………染 英昭 3

### 農事功績者表彰

平成27年度第99回農事功績者表彰式…………… 4

式典・受章祝賀パーティー・式辞

総裁秋篠宮文仁親王殿下のお言葉

祝辞・謝辞・受章祝賀パーティーにおける農林水産大臣の祝辞

平成27年度第99回農事功績者氏名…………… 11

農事功労者

農業改良普及功労者

農業技術開発功労者

本会功労者

### 論壇

食を支え、暮らしを守る人材の育成……………長澤 秀行 16

### 農業懇話会

麦栽培の動向、課題と今後の展望について……………渡邊 和洋 18

講演…………… 18

質疑応答…………… 35

表彰農家訪問

アルストロメリア切り花の産地形成……………腰岡 政二 39  
- 春日照夫氏を長野県伊那市に訪ねて -

農業・農村の現場から

新潟県魚沼市における飼料用米の生産と利活用……………関 誠 47

世界の農業は今

世界のいもち病とその研究……………福田 善通 52

私の経営と志

リングと薪ストーブで焼かれた香ばしいパンと芳しい果実酒…小澤 浩太 57

東京農業大学収穫祭から (第1回)

農業機械への自然エネルギーの利用…生産環境工学科バイオロボティクス研究室 59

農政情報…………… 63

大日本農会だより…………… 64

編集部から…………… 64

大日本農会北米・北加支会 大日本農会農事功積者表彰伝達式記念 (2015年度)

表紙写真説明

イチゴの収穫開始 (宮城県亘理郡山元町)

東北地方最大のイチゴ産地である宮城県亘理町、山元町は東日本大震災によって栽培面積の98%が流失するという大きな被害を受けた。宮城県や亘理町、山元町の行政組織、JAや生産者が一丸となった懸命の努力が実り、国の補助金等を活用した大規模なイチゴ団地の建設が実現し、平成25年秋からは、150名以上の生産者が経営を再開した。しかし、慣れ親しんだ土耕から高設養液栽培へ、パイプハウスから大型鉄骨ハウスへ栽培方法が変わり、養液栽培や環境制御技術の定着へ向けた支援が極めて重要となっている。

この地域の主力品種は「とちおとめ (栃木県育成)」と「もういっこ (宮城県育成)」である (写真は「もういっこ」の栽培状況)。経営再開後三作目の栽培が開始し、今シーズンも収穫が始まった。品質の高いイチゴを安定的に生産する技術の確立と定着をめざし、生産者、技術者の試行錯誤が続いている。 (農研機構 岩崎泰永、後藤直子)